スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【新潟県糸魚川市】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	新潟県糸魚川市
担当課名	教育委員会事務局生涯学習課
電話番号	025-552-1511

１．自治体の基本情報

基本情報

人口	３８，１３７人	部活動数	５４部活
公立中学校数	４校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
公立中学校生徒数	９０６人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

令和４年度から部活動指導員等を配置し、地域連携部活動の充実と段階的な休日の部活動の地域クラブ活動への移行に取組んでいる。
令和５年度末までに部活動地域移行準備会議、地域移行検討委員会を開催し、関係する団体の意見を踏まえ、糸魚川市におけるこの取組みの目指す姿と推進計画の策定を進めた。
市内のジュニア育成スポーツ団体を中心に部活動の受入れについて、ミーティング・マッチングを進めているが、指導者・担い手の確保や生徒の移動手段、大会参加の在り方などが大きな課題となっている。

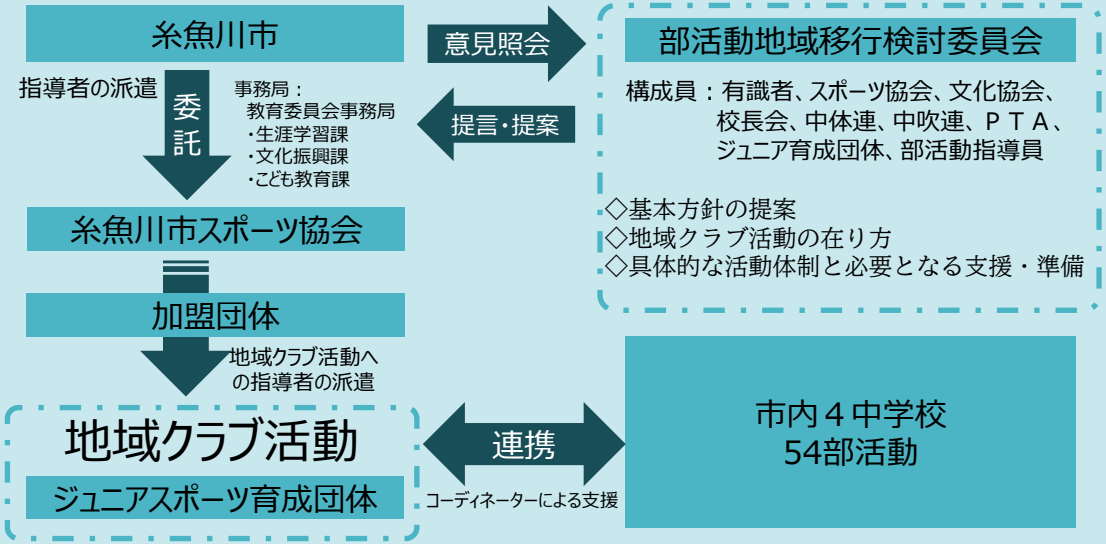
◆糸魚川市内の中学校部活動
➡４中学校15種目54部活動（内、特設部活動５種目12部活動）
◆地域クラブ活動を開始したと部活動
➡Ｒ４　３部活動１地域クラブ（男子バスケ）
➡Ｒ５　６部活動（軟式野球、男子バレー、女子ソフトテニス、バドミントン）
★部活動指導員配置状況
➡30部活動32名配置

2．実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

▼令和７年度末までの移行期における地域クラブ活動推進体制図



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（生涯学習課）
  - ▪検討委員会企画運営
  - ▪地域クラブ活動体制整備
  - ▪スポーツ協会との協議と連絡調整
  - ▪ジュニアスポーツ育成団体の支援と指導者の確保育成
- **教育委員会**（文化振興課）
  - ▪地域クラブ活動体制整備
  - ▪文化協会との協議と連絡調整
  - ▪文化芸術団体の支援と指導者の確保育成
- **教育委員会**（こども教育課）
  - ▪校長会と連携。市内中学校の学校部活動の将来ビジョン決定
  - ▪地域クラブ活動との連携体制検討及び整備

▼スポーツ協会の役割分担

- **糸魚川市スポーツ協会**
  - ▪地域の指導者の確保育成
  - ▪地域クラブ活動や部活動への指導者の派遣

年間の事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討委員会	・第１回		・第２回		・第３回		・第４回		・第５回		・第６回	
指導者の派遣	・委託契約											（補助対象外）
説明会等	・部活動説明会				・地域クラブ活動紹介			・体験入部		・学校説明会		
部活動と地域クラブ活動のマッチング	・地域クラブ活動募集					・種目別ミーティング①		・種目別ミーティング②		・種目別ミーティング③		・地域クラブ活動実績報告

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

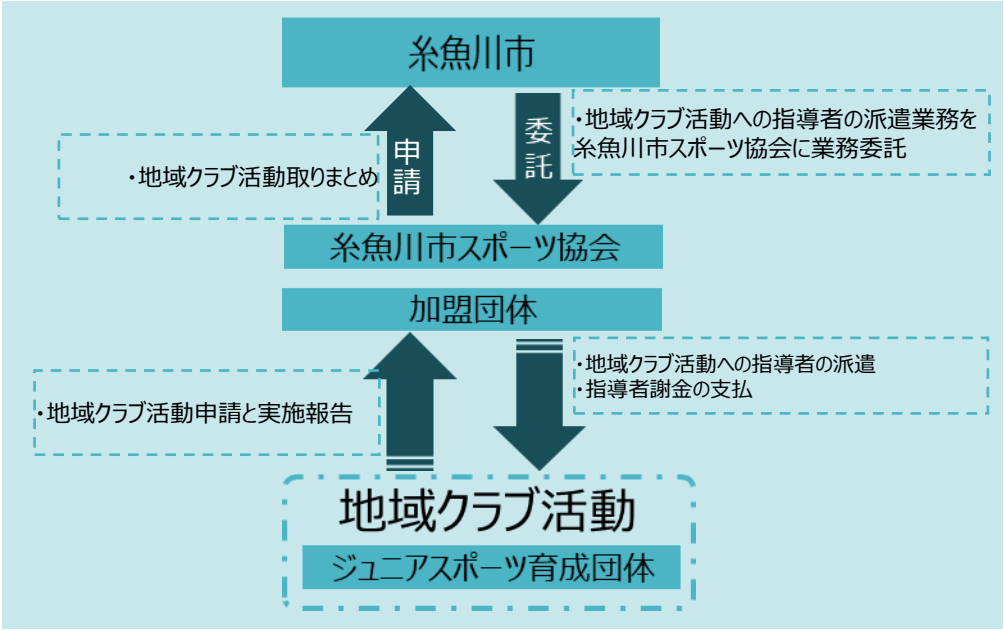
拠点校数	４校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	軟式野球、女子ソフトテニス、男子バスケットボール、バドミントン、男子バレーボール
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	９部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	能生、糸魚川東、糸魚川、青海
地域クラブ活動に移行した部活動数	９部活
地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、女子ソフトテニス、男子バスケットボール、バドミントン、男子バレーボール
運営主体名	糸魚川市
運営類型	教育委員会運営型
１か月あたりの平均的な活動回数	軟式野球：月12回程度 女子ソフトテニス：月４回程度 男子バスケットボール：月12回程度 バドミントン：月4回程度 男子バレーボール：月12回程度
指導者の主な属性	競技スポーツ団体指導者 教員
活動場所	市内社会体育施設、学校開放移設
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	平均：1,000円／月 （平均：12,000円／年）
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

◆総括コーディネーターの配置
（検討委員会の運営及び実施団体との調整、地域クラブ活動企画運営、実施団体活動の取りまとめ、地域連携に向けた関係団体との連絡調整）
◆地域コーディネーターの配置
（地域クラブ活動企画運営、実施団体の活動調整、地域連携に向けた関係団体との連絡調整）
＜コーディネーター業務共通＞
基本方針・推進計画の方向性を踏まえ、各実施主体の活動体制や活動内容などについて連絡調整を図り、関係団体間の連携強化を図る。

取組の成果

◆『糸魚川市立中学校部活動の地域移行に係る検討委員会』の開催
◆４種目６部活動が地域クラブ活動と連携した活動を開始
（軟式野球、ソフトテニス、バスケットボール、バドミントン、バレーボール）
◆市内４中学校を対象とした月１回から４回程度の合同練習体制スタート
（陸上競技、剣道）

令和5年度地域クラブ活動の状況

種目	クラブ名	対象中学校
・軟式野球	青海ベースボールクラブ	青海中
	美山ベースボールクラブ	糸魚川中
・ソフトテニス（女子）	青海ジュニアソフトテニスクラブ	青海中
・バスケットボール（男子）	SPIRITS10	糸魚川東中、糸魚川中、青海中
・バドミントン	ラブ・オール糸魚川	糸魚川市内4中学校
・バレーボール（男子）	糸魚川ヤングバレーボールクラブ	糸魚川中

特に工夫した事項

◆各学校保護者代表者の検討委員会への参画
◆糸魚川市スポーツ協会加盟35競技団体と各競技団体傘下に54団体存在するジュニア団体への働きかけ。➡地域クラブ活動の受け皿団体へ
◆先ずは部活動15種目について、既存のジュニアスポーツ育成団体との連携体制構築を進めている。
◆各学校部活動のＲ６以降の活動体制について、意向調査を実施し、その結果を元に種目別の関係者（競技団体、ジュニア団体、保護者、学校）が集まりミーティングを実施している。（令和4年度より）

糸魚川市内中学校部活動の設置種目
＜常設＞
①陸上競技、②バスケットボール、③サッカー、④軟式野球
⑤体操競技、⑥バレーボール、⑦ソフトテニス、⑧卓球
⑨剣道、⑩スキー（クロスカントリー）
＜特設＞
⑪水泳競技、⑫バドミントン、⑬柔道、⑭相撲
⑮スキー（アルペン）

今後の課題と対応方針

◆関係団体の役割分担整理。安定した協力・連携体制の構築
◆地域クラブ活動の活動時間、活動場所の確保・調整
◆指導者の確保（資格や活動時間の調整）
◆競技団体や地域の支援体制の構築

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

◆指導者の確保育成
・部活動指導員配置事業の活用・地域クラブ活動への地域の指導者の派遣（6クラブ）
・指導者資格取得への支援（市独自補助事業）
・部活動指導員、ジュニア指導者研修会の開催（4回/年）

取組の成果

・部活動指導員配置30部活動40名
・地域クラブ活動への指導者の派遣（6クラブ22名）
・JSPO公認コーチ資格取得8名
・研修会参加者（2回/年開催、延べ100名参加）

特に工夫した事項

・部活動指導員制度を活用し、地域連携部活動体制づくりを進めた。
・部活動指導員の配置にあたり、地元競技団体の理解と協力を得て、組織的・地域的な支援体制づくりにつなげている。

今後の課題と対応方針

地域におけるジュニアスポーツ育成団体の活動は活発であるものの、中学校部活動との連携体制の構築は地域クラブ活動体制の整備における大きな課題となっている。
中学校部活動のガイドライン等の理解を深め、指導者の確保育成を進めるとともにインティグリティ研修等の機会を設けることで、生徒保護者が安心して参加できる地域クラブ活動づくりを推進する。
また、これまで、地域のジュニアスポーツ活動はボランティア指導者の献身的な活動に支えられてきている。新たに地域クラブ活動として専門の指導者を配置する場合に、指導者に支払う謝金が新たな保護者・生徒の負担となっている。移行期においては、指導者の配置費用を最大限支援し、激変緩和措置を講じる必要がある。
更なる指導者及び活動の受皿・担い手の確保と体制強化が必要。

令和5年度部活動指導員配置状況（敬称略）R5.5.18現在

種目	男女別	能生中学校 人数	糸魚川東中学校 人数	糸魚川中学校 人数	青海中学校 人数	合計
陸上競技		2人	1人	1人	1人	青海推薦希望2人（現在1人）
軟式野球部		2人	3人	0人	3人	糸魚川推薦希望1人（現在0人）
バレーボール	男	1人		1人	0人	青海推薦希望1人（現在0人）
	女	2人		1人		
バスケットボール	男		2人	0人	1人	
	女		2人	0人		
卓球部	男	1人	1人	0人	2人	
	女			0人		
ソフトテニス	男			0人	0人	
	女			1人	1人	
サッカー				0人		
体操競技				1人		
剣道				1人	1人	
吹奏楽		2人	2人	1人	1人	
文化活動		0人				
科学				0人		
美術				0人		
研磨				0人		
指導員数						合計 38人

※「推薦希望」の箇所は各団体に依頼中となっています。指導員が決まり次第、各学校へ連絡します。その後、委嘱書の提出をお願いします。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

◆部活動地域移行検討委員会の開催（6回／年）
・構成員：有識者（大学教授）、小中校長会、小中体育連盟、スポーツ協会、文化協会、PTA、スポーツ・文化芸術団体、部活動指導員
構成員となる関係する各団体からの意見を聞き、必要な支援策や地域クラブ活動体制づくりの方策について検討を進めている。
◆種目別ミーティングの開催
・部活動15種目　各校顧問と社会教育団体との意見交換会の開催

◆糸魚川市立中学校部活動の地域移行に係る検討委員会
・委員構成
有識者（大学教授）、スポーツ協会、文化協会、小中学校長会、中体連事務局、中吹連事務局、部活動指導員、ＰＴＡ代表、スポーツ・文化芸術団体代表
・事務局
糸魚川市教育委員会事務局生涯学習課、文化振興課、こども教育課
・検討内容
基本方針及び推進計画の検討、必要となる支援の検討など

◆種目別ミーティング実施状況
・事前調査（部活動顧問宛）15種目　54部活動対象として実施
・５種目（陸上競技、バスケットボール、軟式野球、ソフトテニス、卓球）

取組の成果

◆糸魚川市における地域クラブ活動体制の目指す姿（案）及び推進計画（案）について意見とりまとめ（検討委員会）
◆種目別ミーティングにおいて
・地域クラブ活動の検討開始➡4種目5部活動（女子バスケットボール、軟式野球、体操競技、男子ソフトテニス）
・合同練習の開始➡2種目（陸上競技、剣道）

特に工夫した事項

検討委員会や種目別ミーティングにおいて生徒・保護者の意見が反映されるよう、PTA等に協力を依頼した。
検討委員会に於いては4中学校の保護者代表から会議に協力が得られ、意見交換が進められた。

今後の課題と対応方針

学校とスポーツ・文化芸術団体が連携する組織はこれまで当市にはなく、学校部活動と社会教育活動の融合のために学校と社会教育団体が意見交換を行う場が必要となっている。
また、生徒の望む姿、希望する活動を負担少なく展開するため、生徒・保護者の意見を聞くことも重要となっており、検討委員会に各学校PTA代表の参加をお願いしている。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項	◆スポーツ協会等と連携した種目ごと複数校合同練習体制づくり ◆　　〃　　複数校の受け皿となる地域クラブ活動体制づくり ◆部活動指導員の種目ごと関係団体の組織的なバックアップ体制の構築
取組の成果	・陸上競技、男子バスケットボール、バドミントン、剣道において、市内4中学校合同の練習機会が定期的に開催されている。 ・部活動指導員や地域クラブ活動における指導者の確保にスポーツ協会から協力が得られ、スポーツ協会を通じた組織的な人材確保が進められている。
特に工夫した事項	・スポーツ協会及び加盟団体への周知啓発 ・スポーツ協会を通じた部活動指導員等の推薦依頼等
今後の課題と対応方針	生徒数の減少から、学校単位で部活動（地域クラブ活動）を継続していくことが困難となりつつあることから、部活動種目ごとに地域で活動を支えていく形を複数校合同で検討していく必要が生じている。 また、地域連携部活動の一つとして部活動指導員配置制度を活用しているが、各種目の関係団体の組織的なバックアップ体制とすることで、継続的で安定した地域の支援体制を構築することも必要となってきている。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

◆部活動種目の地域連携体制の強化
・部活動と地域の社会教育活動団体との連携体制を強化し、地域クラブ活動体制づくりと安定的で継続的な活動体制整備を進めた。
◆部活動種目以外の地域クラブ活動の創出
・糸魚川市スポーツ協会加盟団体等への周知啓発
・中学生の部活動種目以外のニーズ聞取り
◆指導者研修の開催
・指導者研修を計画的に開催し、質の高い地域クラブ活動の提供ができる指導体制の基礎づくりを進めた。
◆指導者資格取得への支援
・市単独補助事業。公認指導者資格取得支援を行った。

取組の成果

◆部活動指導員配置30部活動40名
◆地域クラブ活動への指導者の派遣（6クラブ22名）
◆SPO公認コーチ資格取得8名
◆研修会参加者（5月40名、2月60名）

特に工夫した事項

指導者体制のすそ野を広げるため、地域クラブ活動の指導者研修の機会を活用し、部活動指導員と地域のジュニアスポーツ育成団体の指導者への研修も実施している。

今後の課題と対応方針

教員の代わりとなり指導・引率を行う部活動指導員や部活動そのものの代わりとなる地域クラブ活動における指導者について、求められる資質や条件などは検討と整備を進めているところ。
当市には15種目の部活動種目に対し、スポーツ協会加盟団体は35団体、ジュニアスポーツ育成団体は56団体あることから、地域の社会教育団体の指導者から協力を募りつつ、JSPO等の指導者資格の取得を促し、インティグリティ研修等による指導力と資質の向上に継続的に取り組む必要がある。

2．実証内容と成果

取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項

◆各種活動支援の活用
・糸魚川市スポーツ協会ジュニアスポーツ育成団体補助金を活用した部活動の受入れを行う団体への活動費助成の実施。
・社会体育施設、学校開放施設の使用料等減免措置
・中体連主催大会等への参加費用の支援

取組の成果

・糸魚川市スポーツ協会ジュニアスポーツ育成団体補助金の活用➡6クラブ
・全ての地域クラブ活動について、市営社会体育施設及び学校開放施設の減免措置の実施
・中学校体育連盟主催大会及び新人戦に地域クラブとして参加した生徒への参加費助成の実施（参加費・交通費の全額）

特に工夫した事項

糸魚川市スポーツ協会と連携しジュニアスポーツ育成団体への支援を進めている。
糸魚川市内ジュニアスポーツ育成団体（糸魚川市スポーツ協会独自の取組）登録団体54団体。
※会員数と活動日数に応じた活動費助成（指導者経費は含まず）

今後の課題と対応方針

ジュニア育成団体の活動については、施設の使用料減免やスポーツ協会を通じた活動費の助成などにより低廉な費用負担で運営できるよう支援が進められている。
部活動が地域クラブ活動においても同様に支援を継続し、部活動と比較して大きく負担が増えることが無いよう、支援する必要があると考えている。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項	◆部活動時間における地域クラブ活動による学校施設の利用体制の整備 ・放課後の学校施設の活用体制を学校と協議及び調整 ・学校開放の取扱いに関連して必要となる施設整備等の検討 ◆地域クラブ活動の社会体育施設利用調整
取組の成果	・地域クラブ活動について放課後の学校施設の利用が認められた。 （青海ジュニアソフトテニスクラブ（女子ソフトテニス）、美山BC（軟式野球）、糸魚川ヤングバレーボールクラブ（男子バレー））
特に工夫した事項	地域クラブ活動について、学校部活動と同様の学校施設の利用ができるよう学校と協議を進めている。 学校部活動単位で地域クラブ活動に取組んでいることから、部活動時間も部活動と同様に学校施設を利用し地域クラブ活動ができている。
今後の課題と対応方針	概ね18時半から一般に学校開放を行っていることから、新たに地域クラブ活動を行う場合の安定的な活動場所の確保が大きな課題となっている。 終学活終了後から学校開放までの時間を地域クラブ活動で利用できる体制の整備が必要となっている。 また、学校開放を行う場合の施設・備品の利用範囲やセキュリティ対策なども検討課題となっている。 休日の地域移行の目標年度である令和8年度当初までに必要な整備を進めておく必要があるため、令和7年度までに整備を終える必要がある。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

<参考資料1>

糸魚川市立中学校の部活動の状況

1 令和5年度 糸魚川市立中学校の生徒数と部活動加入率（文化部含む）

学校名	生徒人数				内、部活動加入人数				部活動加入率
	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	計	
能生中	59	49	42	150	46	32	25	103	69%
糸東中	43	46	40	129	41	31	37	109	84%
糸魚川中	139	164	172	475	119	115	97	331	70%
青海中	64	59	48	171	51	36	31	118	69%
4中学校計	305	318	302	925	257	214	190	661	71%

2 令和5年度 市内中学校の競技別部員数（運動部） ※中学校体育連盟報告資料抜粋

No		1		2		3		4				
市町村名		糸魚川市		糸魚川市		糸魚川市		糸魚川市				
学校名		能 生		糸魚川東		糸魚川		青 海				
競技名	男女別	男	女	男	女	男	女	男	女	男子計	女子計	男女合計
1	陸上競技	15	13	17	13	28	16	14	4	74	46	120
2	水泳競技					4	2	1	1	5	3	8
3	バスケットボール			6	6	19	23	13		38	29	67
4	サッカー					11				11	0	11
5	ハンドボール									0	0	0
6	軟式野球	21	2	18	2	37		18	1	94	5	99
7	体操競技					13	5			13	5	18
8	新体操									0	0	0
9	バレーボール	13	16			23	23		10	36	49	85
10	ソフトテニス					37	36		13	37	49	86
11	卓球	21	10	10	10	26	15	13	3	70	38	108
12	バドミントン						6			0	6	6
13	ソフトボール									0	0	0
14	柔道									0	0	0
15	剣道					6	7	9	9	15	16	31
16	相撲									0	0	0
17	スキー クロスカントリー									0	0	0
	スキー ジャンプ									0	0	0
	スキー アルペン					2				2	0	2
その他：参考競技												
テニス										0	0	0
（自由書に記入してください）										0	0	0
男女別計		70	41	51	31	206	133	68	41	395	246	641
合計		111		82		339		109				

※5月1日現在の部員数（※新1年生の所属決定後の人数）

【第１回検討委員会　参考資料１　部活動の状況】

種目別ミーティング事前調査（部活動の意向調査）まとめ

	部名	活動体制								学校の意向			
		令和4年度				令和5年度				令和6年度			
		能生	糸東	糸魚川	青海	能生	糸東	糸魚川	青海	能生	糸東	糸魚川	青海
学校に部活動がある種目	陸上競技(男女)	A	A	A	A	A（合同）	A（合同）	A	A（合同）	C	C	A	C
	軟式野球	C	C	C	C	C	C	C	C	A	C	C	C
	バレーボール(男)	C		A		C		C		C		C	
	バレーボール(女)	C		C	A	C		C	A	C		C	A
	バスケットボール(男)		C	C	C		C	C	C		C	C	C
	バスケットボール(女)		C	C			A	A			C	C	
	卓球(男女)	A	A	A	A	A	A	A	A	A	C	C	C
	ソフトテニス(男)			A				A				C	
	ソフトテニス(女)			A	A			A	C			C	C
	サッカー(男)			A				A				A	
	体操競技(男女)			A				A				A	
	剣道(男女)			A	A			A（合同）	A（合同）			C	C
	吹奏楽	A	A	A	A	A（合同）	A（合同）	A（合同）	A（合同）	A（合同）	C	A	C
	文化活動	A				A				A			
	科学			A				A				A	
	美術			A				A				A	
	研磨			A				A				A	
″ない種目	相撲（男女）	特設	特設	特設		特設	特設	特設		特設	特設	B	
	水泳(男女)	特設	特設	特設	特設	特設	特設	特設	特設	特設	特設	特設	特設
	スキー(男女)	特設		特設		特設		特設		特設		C	
	駅伝		特設				特設				特設		
	バドミントン(男女)			特設				B				B	
	柔道(男女)												
	空手(男女)			特設				特設				特設	

活動体制の分類	
A	部活動（単独・合同）
B	地域クラブ
C	部活＋地域クラブorジュニア団体等

【第４回検討委員会資料　部活動の意向調査】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

1 基本方針

◆ 部活動の教育的価値を生かしながら学校と地域が連携した地域クラブ活動体制づくりを進める。

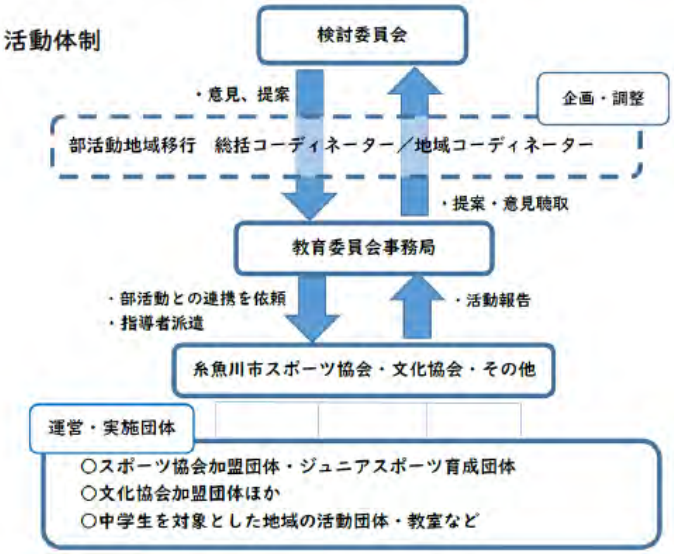
地域の中学生を対象としたジュニアスポーツ育成団体・文化活動団体をベースとして、希望する生徒誰もが参加できる、学校と地域が連携・融合した子どもの新しいスポーツ・文化活動の環境となる地域クラブ活動を創設する。

2 地域クラブの活動方針

◆ スポーツ・文化活動を楽しみ、学び、成長し、スポーツ・文化活動で自立する子どもを育てる。

○競技力・技術力等の向上と個人やチームの成長を目指した生徒 主体の活動
○多様なニーズに合わせた活動
○コンプライアンス重視で生徒の人格を重んじた指導
○「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」の遵守

3 活動体制



【検討委員会とりまとめ 基本方針（案）抜粋①】

4 実施団体及び認定基準

（1）実施団体

・糸魚川市スポーツ協会または文化協会の加盟団体
・糸魚川市スポーツ協会加盟団体の傘下にあり、当該加盟団体が認めたクラブ・団体
・糸魚川市文化協会加盟団体の傘下にあり、当該加盟団体が認めたクラブ・団体
・糸魚川市立中学校部活動の地域移行に係る検討委員会に申請し認められたクラブ・団体

（2） 認定基準

［共通事項］

・市の基本方針の遵守
・「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」遵守
・スポーツ安全保険等（スポーツ活動・文化活動・ボランティア活動・地域活動が補償対象となるもの）への加入
・適切な指導ができる指導者の配置（人数・資格等）

［スポーツ関係］

・スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>等に基づく会計処理と情報公開
・日本スポーツ協会（以下、JSPOという。）及びJSPO加盟中央団体の指導者資格（スタートコーチ資格以上）を有する指導者を 1 名以上確保すること又は、同等の有資格指導者の育成

［文化活動関係］

・適正な会計処理と情報公開
・一定の指導経験を有する指導者を配置

5 活動場所

○ 糸魚川市立小中学校の学校施設(グラウンド、体育館、テニスコート、武道場、音楽室等)
○ 糸魚川市社会体育施設(体育館等)
○ 文化施設(文化ホール等)
○ 地区公民館など

※施設使用に関するルール・条件等は施設ごとに整備を進める

【検討委員会とりまとめ 基本方針（案）抜粋②】

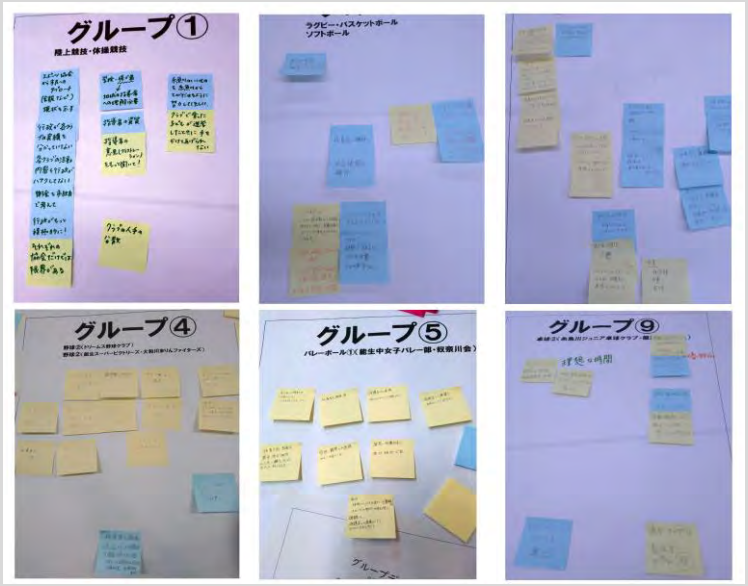
2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【第１回検討委員会開催（10月3日）】



【指導者研修会　グループディスカッション（３月６日）】

10月3日	○第１回検討委員会
	・国県の動向と市の取組 ・地域クラブ活動の目指す姿（基本方針）（案）について説明
11月2日	○第２回検討委員会
	・地域クラブ活動の目指す姿（基本方針）（案）意見取りまとめ ・部活動地域移行推進計画の検討①（運営主体、実施団体、種目、活動場所、指導者、活動日や時間） ・説明会の開催と種目別ミーティングの実施について
11月中旬	
11月下旬	
12月7日	○第３回検討委員会
	・部活動地域移行推進計画の検討②　（補助事業、補助金、指導者派遣、輸送、困窮家庭支援） ・令和6年度部活動地域移行の取組と地域クラブ活動体制について①　（マッチング状況・課題の整理）
2月15日	○第４回検討委員会
	・部活動地域移行推進計画の検討③（意見取りまとめ） （補助事業、補助金、指導者派遣、輸送、困窮家庭支援） ・令和6年度部活動地域移行の取組と地域クラブ活動体制について② （マッチング状況・課題の整理） ・令和5年度検討委員会意見取りまとめ

【検討委員会実施状況と検討項目】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和４年	令和５年		令和●年	令和●年
・部活動指導員配置 ・地域連携部活動の開始	・準備会議の開催（4回） ・モデル事業開始	・地域クラブ活動体制整備 ・地域移行検討委員会の開催 ・地域クラブ活動開始	記載例）生徒、保護者への説明	記載例）地域クラブ活動の開始	記載例）地域クラブ活動の拡大

【地域連携部活動】
◆部活動指導員制度の活用

●ステークホルダー
〔市内4中学校長、顧問、競技団体、地域の指導者、部活動に参加する中学生〕
●経過
・教員の負担軽減対策
・安定的で継続的な専門的指導体制

●実施にあたって生じた課題
・指導者の確保
・競技団体との連携
●実施内容、工夫した点　等
・糸魚川市スポーツ協会及び各競技団体と連携
➡個（指導者個人）による支援から団体による支援へ体制の強化。

【部活動地域移行検討委員会】
◆R5年度～Ｒ７年度 基本方針、推進計画の検討

●ステークホルダー
〔教育委員会事務局、学校、スポーツ・文化協会、競技団体、ＰＴＡ〕

●経過
・方針、目指す姿の検討の必要性
・関係するそれぞれの立場からの意見交換・聴取の必要性
●実施にあたって生じた課題
・学校毎、種目ごとの状況の違い
・検討状況や結果などの周知
●実施内容、工夫した点　等
・基本方針（案）と推進計画（案）の提案　➡教育長へ
・種目別ミーティング等の開催提案

【地域クラブ活動実施の検討】
◆Ｒ５年度～Ｒ７年度

●ステークホルダー
〔部活動顧問、スポーツ協会、競技団体、ジュニアスポーツ育成団体、活動に参加する中学生、コーディネーター〕
●経過
・部活動と競技団体の意見交換
・『種目別ミーティング』等を通じた地域と部活動の連携促進の必要性
●実施にあたって生じた課題
・学校部活動と地域のスポーツ団体とのコミュニケーション
・部活動体制の中学ごとの状況の相違
●実施内容、工夫した点等
・『種目別ミーティング』の実施
➡学校、地域、保護者の連携促進
・スポーツ協会を通じた地域クラブ活動支援

【地域クラブ活動実施体制の整備】
◆Ｒ５年度～Ｒ７年度

●ステークホルダー
〔地域クラブ活動団体、こども課、生涯学習課〕

●経過
・地域クラブ活動に必要な施設等整備検討
・地域クラブの活動場所の確保
●実施にあたって生じた課題
・学校活動との調整
・施設備品管理者との調整
・新たな施設整備と移動手段等の整備
●実施内容、工夫した点等
・学校長との協議により部活動と同様の活動として学校及び部活動備品の活用について了承を得ている。
・セキュリティ対策と移動手段の検討は今後の課題

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

「休日の部活動の段階的な地域移行への取組予定」

学校部活動 平日・休日別	R５活動	R６目標	R７目標	R８以降
平　日		平日は部活動を継続 ※可能な種目から平日の地域連携・地域移行にも取組む		
休　日	A　部活動指導員 →《６種目》 B　合同練習 →《３種目》 C　地域クラブ →《５クラブ》	A　部活動指導員 →《継　　続》 B　合同練習 →《種目追加》 C　地域クラブ →《種目追加》	A　部活動指導員 →《継　　続》 B　合同練習 →《種目追加》 C　地域クラブ →《種目追加》	A　部活動指導員 →《平日のみ》 B　地域クラブ →《全種目》

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

◉地域移行に向けた糸魚川市の取組

1 取組の方向性

○ 令和８年度を目標とし、休日の部活動を段階的に地域クラブ活動に移行する。
○ 地域クラブ活動への移行に向け、生徒の活動機会の確保と地域スポーツ・文化団体との連携体制づくりを進める。

2 年次スケジュール

